

長田幹彦 あきひこ 小説家。明治二十年二月一日東京生れ、昭和二十九年五月六日没（二八七―九五歳）。號白茫、ニ澤棟等。明治四十五年早稲田大學文學部英文科卒。兄長田秀雄の影響で雑誌『明星』、『入パル』に寄稿、のち一聯の情話文學を以て人気作家となる。また歌謡曲草創期に『祇園小唄』、『島の娘』等多くを作詞。昭和二十七年起心理現象研究會を興し、主宰。『長田幹彦全集』全十五卷別巻一（昭和十一年―十二年非凡閣）刊。

著書『旅役者』（大正二年十一月十五日濱口書店）、『霧』（大正二年五月十五日九十九書房）、『舞妓姿』（大正四年二月十日新潮社）『情話新集』（、『小夜ちどり』（大正四年七月二日新潮社）『情話新集』（、『自殺者の手記』（大正四年八月二十九日新橋堂）、『鴨川情話』（大正四年十月二十日新潮社）、『露ぐさ』（大正四年十一月十八日春陽堂）、『無扇』（大正五年五月十五日春陽堂）、『幹彦文粹』、『准草』（大正五年六月二十日春陽堂）、『情炎』（大正五年七月十七日春陽堂）、『紅夢集』（大正五年九月十八日春陽堂）、『浮草』（大正五年十月二十三日新潮社）、『旅役者』（大正六年二月十八日新潮社）『代表的名作選集』（、『桑名心中』（大正六年四月十八日新潮社）『情話新集』（、『虚榮』（大正六年六月十八日新潮社）、『西鶴情話』（大正六年九月十八日新潮社）、『秋の歌』（大正六年十一月二十三日春陽堂）『新興文藝叢書』（、『祇園夜話』（大正七年一月十八日新潮社）、『祇園夜話』（大正八年二月二十日新潮社）、『續寧の夜がたり』（大



正八年十一月二十日春陽堂）、『地獄』（大正九年十一月二十五日春

陽堂)、『闇と光』(大正十年六月一日春陽堂)、『早稲田文藝大觀

・第一卷「小説集・上巻」(合著・長谷川大鏡正京、神白鳥編、大正十一年八月五

日實業之日本社)、『祇園』(大正十二年十一月十六日春陽堂)、『大

地は震る』(大正十二年十一月十八日春陽堂)、『悲しき瀧路(外)一

篇』(大正十四年十一月四日JOAR東京放送局、ラヂオドラマ研究會藏版、春

陽堂發賣「ラヂオドラマ叢書」)、『長田幹彦篇』(昭和二年六月一

日新潮社「現代長篇小説全集」)、『女復讐屋』(昭和五年四月二十

日中央公論社)、『現代話 世鶴全集』(第五卷『好色五人女』昭和六

年八月十日春秋社)、『虹の歌』(昭和七年一月十五日春陽堂「日本

小説文庫」)、『祇園小唄・一』(昭和七年八月十五日春陽堂「日本

小説文庫」)、『神風連』(昭和八年五月十五日春陽堂「日本小説文

庫」)、『世鶴物語 好色一代男・一代女』(昭和十二年一月二十一日

新潮社「新潮文庫」)、『祇園夜話』(昭和十二年九月一日新潮社

「新潮文庫」)、『旅役者』(昭和十四年八月二十一日新潮社「新潮

文庫」)、『愛國浪曲涼作集』(合著・經國文藝の會編、昭和十六年

二月十日大和書店)、『風の舞曲』ダンス(昭和十七年七月十日興川書房)、『

「新婚街道』(昭和十七年七月十五日興川書房)、『嵐の夕晴』(昭

和十七年八月十日興川書房)、『香のめぐり』(昭和二十一年四月十五

日曉書房)、『愛の山河』(昭和二十一年五月十日江戸書院)、『祇

園全集・春の巻』(昭和二十一年八月十日興川書林)、『女復讐屋』

(昭和二十一年七月十日大明社)、『ゆく春』(昭和二十一年八月十

日大明社。再刊・二十二年九月十日曉書房)、『祇園のぐれ』(昭和

二十二年九月二十日江戸書院)、『悲しき口紅』(昭和二十二年五

- 月二十五日瀧書店)、『モルガンお雪』全二冊(第一篇―千鳥の巻・
 昭和二十一年八月十五日、第一篇―舞扇の巻・二十二年一月二十日瀧
 書店)、『花の雨』(昭和二十二年五月一日瀧書店)、『戀の繪日傘』
 (昭和二十二年五月十日都書院)、『祇園のお雪(モルガン夫人の生
 涯)』(昭和二十二年五月二十日瀧書店)、『わが青春の記』(昭和
 二十二年十月十日瀧書店)、『小説天皇』(昭和二十四年四月一日光
 文社)、『小説明治天皇』(昭和二十五年十月一日光文社)、『幽霊
 インタビュー』(昭和二十七年八月十五日出版東京)、『青春時代』
 (昭和二十七年十一月十日出版東京)、『長田野彦集』(野田守太郎
 編、昭和二十八年二月十五日河出書房「市民文庫」)、『人間紋情』
 (昭和二十八年六月二十日要書房)、『文豪の素顔』(昭和二十八年
 十一月二十日要書房)、『靈界』(昭和二十八年十二月十日大法輪
 閣)、『私の心霊術』(昭和二十九年八月二十日福書房)、『青春物
 語』(昭和三十年十月十日新潮社)等。